

令和7年3月5日(水)、「ACPの取り組み」～ターミナルケア委員会からの発信～を愛南町在宅医療・介護関係者研修会で報告してきました。



当施設では平成18年からターミナルケアに取り組み、現在はターミナルケア委員会が先導し、厚生労働省推奨、ACP（人生会議）を取り入れたターミナルケアへと成長してきました。

その取り組みの一つとして、ご本人やご家族へ定期的に「3つの質問」（1. 希望する終末期医療 2. 希望する最期の場所 3. 今後したいこと）をしています。自分や家族の最期を考えることをきっかけとして、今後どのように生きるべきかを考えていただきたい、そして私たち支援者はできるだけ早い段階でACP（人生会議）を行い、関わる場所や人が変わっても思いを引き継がなければならない、となんぐん館職員の思いを代表して伝えてきました。今回の報告が関係者や地域に波及していくことを期待しながら私たちはこれからも変わらず、「あなたらしさを大切にします。」というなんぐん館理念のもと支援の輪を拡げ、成長していきたいと思ひます。

俳句紹介

リハビリり作品作り

遠く見ゆ 春がすみ 御荘れんぼう 理水	散ればこそ おしまれる花 又来年 理水
------------------------------	------------------------------



お花見

満開の桜が青空に映えて春らしい美しい景色でした。



ひな祭り

可愛らしく出来上がったお雛様を見ながら楽しくお茶会をしました。皆さん、お雛様に負けない素敵な笑顔ですね。

